

施策評価調書

施策名	1-5-1	生活排水処理の整備普及	施策を取り巻く環境変化	
		地域経営計画(後期計画) 該当ページ P. 27		
担当部課	建設産業部 上下水道課	担当	業務管理担当	
		リーダー	斎藤 耕太郎	

1. 住民意識調査結果

21年度(10月実施)		25年度(※実施予定)		26年度(※実施予定)	
満足度	第20位/全36項目(生活排水処理の整備普及) -2.0%	満足度	第 位/全 施策	満足度	第 位/全 施策
優先度	第17位/全36項目(生活排水処理の整備普及) 54.6%	優先度	第 位/全 施策	優先度	第 位/全 施策

満足度:「満足である」、「どちらかと言えば満足である」を合計した割合から、「どちらかと言えば不満である」、「不満である」を合計した割合を差し引いたもの

優先度:「優先すべき」、「やや優先すべき」を合計した割合から、「あまり優先しなくてよい」、「優先しなくてよい」を合計した割合を差し引いたもの

2. 施策の目標

指標	基準値	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
指標1: 公共下水道汚水管整備計画面積 宝積寺地区(全面積:438ha): (ha)	21年度までの実績	計画	230.3ha	246.0ha	261.0ha	271.0ha	280.0ha
	223.6ha	実績	↓ 229.7ha				
指標2: 公共下水道雨水管整備延長: (m)	21年度までの実績	計画	1,080.8m	1,200.3m	1,325.3m	1,546.3m	1,773.0m
	915.8m	実績	↓ 1,069.7m				
指標3: 汚水処理機能の拡充 宝積寺地区: (池)	21年度までの実績	計画	3池	3池	3池	3池	3池
	2池	実績	→ 3池				
指標4: 合併処理浄化槽設置数: (基)	21年度までの実績	計画	1,328基	1,398基	1,468基	1,538基	1,608基
	1,188基	実績	↓ 1,316基				
指標5:		計画					
		実績					
指標に関する特記事項	○公共下水道汚水管整備(仁井田地区)は、前期5カ年計画において、57.0haの整備が完了しています。宝積寺地区と仁井田地区を合計した平成27年度の目標値(整備済面積)は、337.0haです。これは、整備計画面積495.0haに対して68.1%になります。						

進捗状況の区分 ↑: 目標以上の成果があった ↓: 目標に達しなかった △: 遅延・未着手等 ×: 見直し・廃止等

3. 施策に係る経費

事業費(傘下事務事業費計)の推移【単位:千円】 (※総事業費)	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
		当初	552,360			
	決算					

4. 施策傘下事務事業 ※別紙のとおり

5. 施策評価

		後期計画における施策展開のビジョン	H24年度の狙い
自己評価(部)	H22事後評価	<ul style="list-style-type: none"> ・汚水管は、宝積寺北区と区画整理地内で整備を行い、平成22年度までの認可区域の北区は計画通り完了しました。また、区画整理地内は、雨水管・道路築造工事と一体的に工事を実施し、工事期間の短縮、建設コストの削減を図りました。 ・水処理施設は、平成24年度に流入汚水量が既存処理施設の能力を上回ると予測されることから、汚水処理槽を1池増設する工事を平成22年度からの2ヵ年継続事業として早期に発注しました。 ・浄化槽の普及は広報活動を行なうとともに、年間58基分の補助金を交付して、良好な生活環境の向上に努めました。 ・水洗化促進は、接続のお願いを実施し、下水道への接続に努めました。水洗化率は79.7%で、生活環境の向上と下水道事業経営の安定化が図られました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・汚水管の整備は後期計画の整備計画どおり、宝積寺北区を重点的に整備します。また、水道工事と一体的に工事を実施し、工事期間の短縮、建設コストの削減を図ります。 ・区画整理事業区域の雨水管は、道路築造工事と一体的に整備し、工事期間の短縮、建設コストの削減を図ります。また、国道4号線から鬼怒川まで雨水管を整備し、中坂から下流部の工事を完了させます。 ・浄化槽の普及は国の交付金事業を活用して、公共下水道事業や農業集落排水事業が及ばない地域において、年間70基の浄化槽の設置を推進します。あわせて、生活排水による河川などの水質汚濁の防止と、生活環境の向上を図ります。 ・水洗化の促進は広報活動や戸別訪問により下水道処理施設への接続率を上げます。また、接続率を上げることで、下水道事業の経営の安定化が図られるとともに、住民の生活環境が向上し、河川などの水質保全も図られます。
	H24事前評価	<ul style="list-style-type: none"> ・汚水管の整備は、北区を重点的に整備します。また、水道工事と一体的に工事を実施し、工事期間の短縮、建設コストの削減を図ります。 ・雨水管の整備は、区画整理事業区域の雨水を排除するため、区画整理事業の進捗にあわせて雨水管を布設します。 ・浄化槽の普及は、広報活動を行い、公共下水道事業認可区域及び農業集落排水事業区域以外で浄化槽を設置する方に設置費用の一部を補助し、あわせて生活環境の向上を図ります。 ・水洗化の促進は、広報活動を行い、公共下水道への接続を促すとともに、工事資金について無利子の融資を斡旋します。 	
総合評価(町長)	総合評価		施策傘下事務事業に係る個別指摘事項
	前期計画の達成状況を踏まえ、管渠建設等、継続的に施策展開されていることを評価する。 他施策との事業調整を密にし、連携のとれた施策展開を図られた。		・全て「継続事業」とする。 ・ただし、「宝積寺処理区管渠建設費」、「宝積寺処理区雨水対策建設費」にあっては、特に区画整理事業との調整を十分に図られた。また、財政状況との兼ね合いから、財政・計画担当と協議のうえ、一部事業の先送りを検討された。